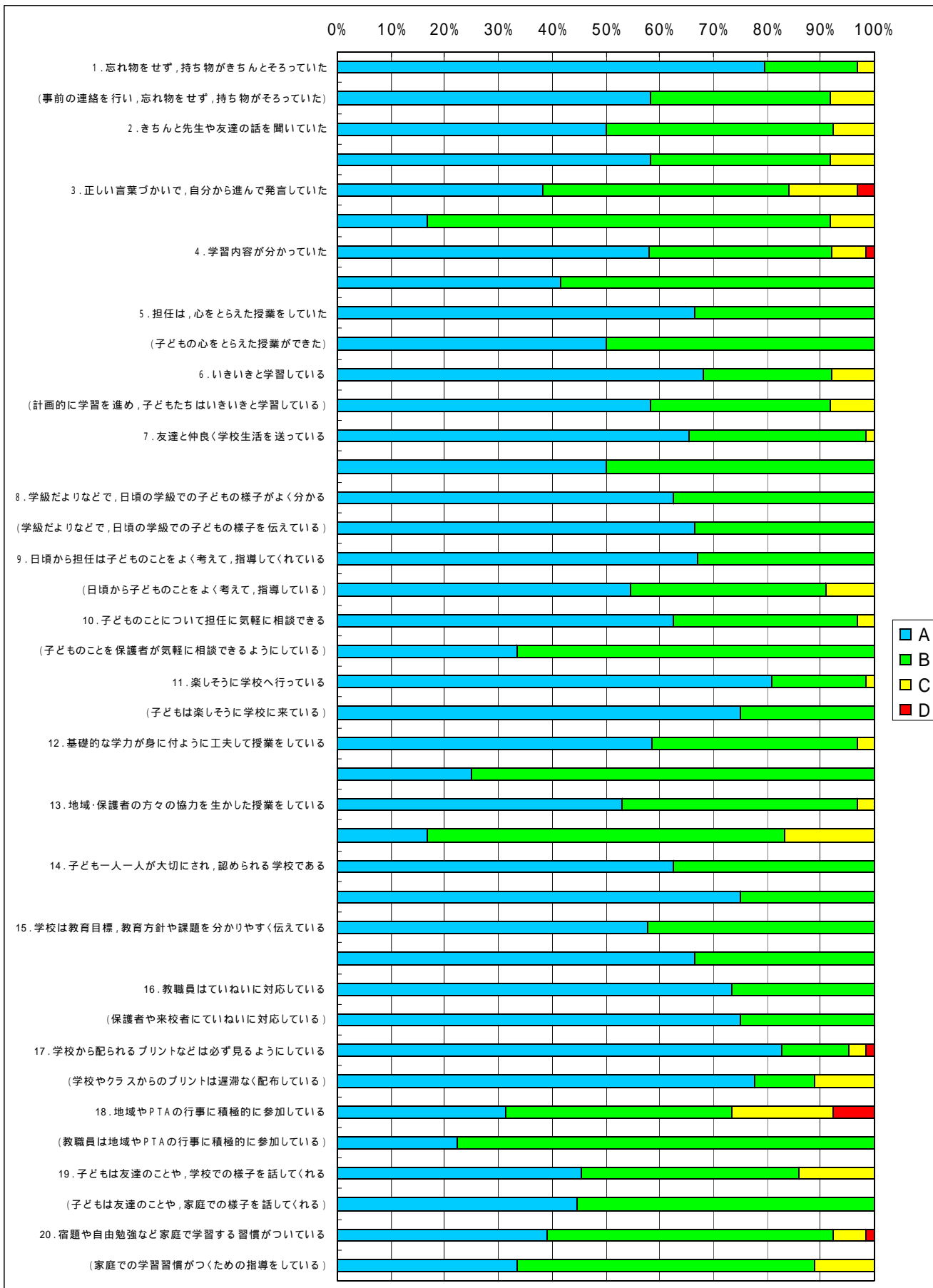


平成19年度 学校評価結果から (5月20日(日)日曜参観)

各評価項目番号の上段は保護者・地域の方々, 下段は教職員



保護者や地域の皆様方から、学校の教育活動に対して、アンケート形式で評価をいただくようになって7年目を迎えました。

本年度も、5月20日の日曜参観の日に第1回目のアンケートを実施しました。今回は64名の方々(対家庭数で77.1%)から貴重なご意見をいただきました。

このアンケートは、観点を決めた評価項目と自由に記述して頂くものとを併用しております。自己評価ということで本校の教職員にも同様の項目で評価を求めました。その結果を保護者や地域の方々の結果と比較したものが左のグラフです。保護者の皆様の結果を上段に、教職員の結果を下段に表示し、項目内容が同じものについては下段は空白に、少し言い回しが異なる項目については括弧書きで記載しました。Aは「そう思う」、Bは「どちらかといえばそう思う」、Cは「どちらかといえばそう思わない」、Dは「そう思わない」を表しています。

課題となっています児童の発言(項目3)についても少しずつ評価は高くなっていき、基礎的な学力(項目12)についても評価が高くなっていきます。(全校的に見て学力定着調査の結果が対前年度比で3%弱伸びています。)

今後は、自由記述欄でもご指摘があったように、時間を区切って問題を解く力(集中力)を養うような取組を進めていきたいと思っておりますし、小中一貫教育も、キャリア教育の視点で進めていきたいと思っております。また、今年度より小学校同士の連携を深めていくために新たな取り組みも進めています。

「なりたい自分の実現」のためにこれからも山王教育を進めていきたいと考えています。

第1回学校評議員会から

7月3日に本年度第1回の学校評議員会を開催しました。9名の評議員さんにご参加いただき、本校の本年度の取組を説明するとともに、本校の子どもたちの様子について多くのご意見を頂戴しました。この中で、

- ・子どもはストレスをためているのではないか。自分はいいい子でありたいという思いが強すぎるのではないか。
- ・小さな集団にいることのよさもあるが、集団が固定されて注意してもよいのに「ドンマイ(いいよ)」で済ましてしまう。つまり、こんなことをいうと嫌われるのではないかという気持ちが強いように感じる。このような意味から小・小連携は進めて欲しい。
- ・大きな集団だと子ども同士の自浄作用が働くのではないか。などのご意見をいただきました。これから、本校で考えていかなければならないテーマだと感じました。

始めました小・小連携

7月2日(月)に、東九条地域3小学校の3年生106人が陶化小学校に集まり交流しました。本校の3年生は21人ですが、学校紹介のあと、全員合唱・合奏、ドッジボールなどをして楽しみました。

子どもたちは、はじめは緊張していたようですがすぐに仲良くなっていったようです。感想文でも「みんなで笛を吹くと音が大きかったです」とか「友達がいっぱいできてよかったです」というものがありました。

保護者の感想も、肯定的なご意見が多かったように思います。今後は2年生での交流も行っていきます。



